

令和4年度 第10回金谷区地域協議会

次 第

日時：令和5年2月1日(水)午後6時～

会場：福祉交流プラザ 第1会議室

(全体：2時間程度を予定)

1 開 会

2 議題等の確認

3 報告

(1) リフレ上越山里振興株式会社における雇用関係助成金の不正受給について

4 議題

(1) 自主的審議に係る提案について

(2) 地域活性化の方向性について

5 事務連絡

6 閉 会

令和4年12月16日
産業観光交流部施設経営管理室

リフレ上越山里振興株式会社における 雇用関係助成金の不正受給が判明しました

当市の第三セクターであるリフレ上越山里振興株式会社において、雇用調整助成金と緊急雇用安定助成金の不正受給があったことが新潟労働局の調査で確認され、支給決定の取消し等の処分を受けるとともに、不正受給額 39,158,509 円の返還通知を受けました。

同社では、市同席の上、本日午後4時から記者会見を開催し、その概要について説明します。

また、同社では、現在、弁護士に依頼し、詳細な調査を行っており、その結果がまとまり次第、改めて記者会見を行い説明する予定としています。

なお、不正受給額の返還のほか、年3%の延滞金（法定利息）と当該返還金額の2割相当額が請求されます。

1 日 時 ー

2 場 所 ー

3 内 容 同社及び不正受給の概要については、同社が作成した資料のとおりです。
なお、本日午後4時から開催するリフレ上越山里振興株式会社の記者会見には、当市職員も同席します。

【公表までの経過】

- ・10月21日（金） 市の不正受給の覚知
※この時点で新潟労働局の調査が完了しておらず、市や会社が先に公表すると、同局の調査結果と乖離が生じるおそれがあるため、同局から、市や会社の公表日を、同局の公表日に合わせるよう依頼があった。
- ・12月5日（月） 新潟労働局による正式な支給決定取消・不支給決定
- ・12月16日（金） 新潟労働局による公表

本件についての問い合わせ先

産業観光交流部 施設経営管理室 竹下室長（電話 025-526-5111 内線 2251）

令和4年12月16日

報道関係者 各位

リフレ上越山里振興株式会社
代表取締役 平井 民夫

弊社における雇用関係助成金の不正受給について

今回、弊社は、新潟労働局による調査の結果、雇用調整助成金と緊急雇用安定助成金の不正受給があったことが確認され、令和4年12月5日付で支給決定の取消等の処分を受けるとともに、不正受給額39,158,509円の返還のほか、年3%の延滞金（法定利息）と当該返還金額の2割相当額が請求されました。

本件に関しまして、現在判明している内容は別紙のとおりであります。本日、下記のとおり、記者会見を開催し、同内容を説明させていただきます。

また、現在、弁護士に依頼し、詳細な調査を行っており、その結果がまとまり次第、改めまして記者会見を行い、その結果を説明することといたします。

なお、本件に関するお問い合わせにつきましては、下記弁護士法人までお願いします。

この度は、関係各位に多大なご迷惑、ご心配をおかけしますことに深くお詫び致します。誠に申し訳ございませんでした。

記

【記者会見】	日 時	令和4年12月16日（金） 午後4時～
	場 所	上越市役所 木田第一庁舎4階 記者クラブ室
	説明者	代表取締役 平井民夫、井之上弁護士
	同 席	上越市産業観光交流部

以上

【本件に関するお問合せ先】 弁護士法人つばき 弁護士 井之上 彩 電話：0255-75-5222 （受付時間：平日10時～16時） FAX：0255-75-5223

【別紙1】

○ 弊社の概要

法人名	リフレ上越山里振興株式会社
所在地	新潟県上越市大字皆口 601 番地
設立日	平成 10 年 12 月 18 日
代表者	代表取締役 平井 民夫
資本金	6,000 千円（上越市の出資割合：87.8%）
主な事業	くわどり湯ったり村、ヨーデル金谷、ゆったりの家の管理運営 （上越市から上記 3 施設の指定管理を受託）

○ 不正受給の概要

助成金名	① 雇用調整助成金 ② 緊急雇用安定助成金
不正受給額	① 32,835,083 円 （令和 2 年 4 月 14 日～令和 4 年 7 月 10 日の申請・受給分） ② 6,323,426 円 （令和 2 年 5 月 11 日～令和 4 年 7 月 10 日の申請・受給分） ※ なお、上記金額は、最初の不正発生日以降、受給資格を取り消されることに伴い、受給した助成金全額を不正受給額とされたものです。
請求額	上記不正受給額の返還のほか、年 3% の延滞金（法定利息）と当該返還金額の 2 割相当額が請求されます。
支給決定取消日 不支給決定日	令和 4 年 12 月 5 日
内容	休業していない日であるにもかかわらず、休業したと虚偽の申請を行い、当該助成金を不正に受給したもの。
弊社の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、弁護士による不正受給の詳細調査を実施しております。 ・ その結果がまとまり次第、弁護士同席のもと、改めて、記者会見を行い、その結果を説明いたします。 ・ 新潟労働局からの請求額について、早期に全額納付できるよう努め、真摯に対応していきます。 ・ 株主や取引先、地域などの関係者の皆さまには、第一報として概要をご報告いたします。

【別紙 2】

○ 経過の概要

時期			内容
令和 2 年	4 月	14 日	4 月 14 日分から雇用調整助成金と緊急雇用安定助成金を活用する。
令和 4 年	8 月	25 日	新潟労働局による 1 回目の調査
	9 月	16 日	新潟労働局による 2 回目の調査
		下旬	会社の担当者が平井社長に調査の事実を報告
	10 月	20 日	平井社長が新潟労働局を訪れ、雇用調整助成金の不正受給を認める。
		21 日	平井社長が市を訪れ、事実関係を報告
		26 日	取締役会を開催し、事実関係を報告
	11 月	1 日	新潟労働局による 3 回目の調査
		10 日	井之上弁護士に調査を依頼
		14 日	平井社長が新潟労働局を訪れ、緊急雇用安定助成金の不正受給を認める。 新潟労働局から、支給決定取消等の処分決定を行った後に公表するとの説明がある。
	12 月	6 日	新潟労働局から公表を 12 月 16 日に行うとの連絡を受ける。
		8 日	新潟労働局から 12 月 5 日付で支給決定取消等の通知を受け取る。 ・雇用調整助成金支給決定取消通知書 ・雇用調整助成金返還通知書 ・雇用調整助成金不支給措置期間通知書 ・緊急雇用安定助成金支給決定取消通知書 ・緊急雇用安定助成金返還通知書 ・緊急雇用安定助成金不支給措置期間通知書
			市に支給決定取消等の通知を受け取ったことを報告する。
		16 日	事実関係を公表する。

※ 新潟労働局の調査が完了し公表するまでに市や会社が公表すると、同局の公表内容と乖離が生じるおそれがあることから、同局から、市や会社の公表日を同局の公表日に合わせるよう依頼があった。

令和5年1月31日
産業観光交流部施設経営管理室

リフレ上越山里振興株式会社から雇用関係助成金の 一部返還手続きを完了したと報告がありました

当市の第三セクターであるリフレ上越山里振興株式会社から、不正受給に伴い返還を求められている雇用関係助成金のうち、緊急雇用安定助成金について、新潟労働局へ全額の返還手続きが完了したと報告がありました。

なお、雇用調整助成金については、全額返還に向けた計画を策定中です。

- 1 日 時 ー
- 2 場 所 ー
- 3 内 容 同社からの報告内容は、別紙のとおりです。

本件についての問い合わせ先

産業観光交流部 施設経営管理室 竹下室長（電話 025-526-5111 内線 2251）

令和5年1月31日

上越市長 中川 幹太 様

リフレ上越山里振興株式会社
代表取締役 平井 民夫

雇用関係助成金の一部返還手続きの完了について

貴職におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。

さて、昨年12月にご報告させていただきましたとおり、弊社は、新潟労働局から雇用調整助成金と緊急雇用安定助成金について、不正受給額39,158,509円の返還のほか、年3%の延滞金（法定利息）と当該返還金額の2割相当額を請求されております。

このうち、緊急雇用安定助成金について、令和5年1月31日に全額の返還手続きを完了いたしましたのでご報告させていただきます。返還金額の内訳は以下のとおりです。

また、雇用調整助成金については、早期の全額返還に向けた計画を策定中であります。

なお、今後の対応につきましては、貴市と引き続き協議させていただきたくお願い申し上げます。

記

○ 緊急雇用安定助成金の返還額について

返還総額	7,910,778 円
内訳 ① 不正受給返納金	6,323,426 円
② 延滞金	322,674 円
③ ①の2割相当額の加算金	1,264,678 円

以上

様式（委員用）

令和5年1月19日

金谷区地域協議会自主審議に係る提案書

金谷区地域協議会

会長 村田 敏昭 様

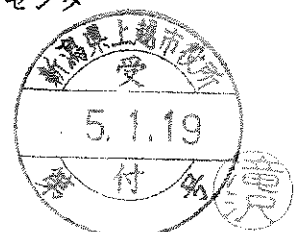
提案者 高橋 誠

下記事項について、上越市地域自治区の設置に関する条例第7条第1項の規定に基づき、審議するよう提案します。

記

<p>審議する事項</p>	<p>「ヨーデル金谷」の早期再開について</p>
<p>内容</p> <p>※下記を参考に可能な範囲でご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 提案理由 ・ 課題の背景 ・ 課題の現状 ・ 今後の見通し ・ 地域、住民への影響 ・ 課題が生じている場所 ・ 期待する効果 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提案理由 「ヨーデル金谷」は、地域の活性化に大きく寄与しているものであり、今後、休館が長引く事によって、衰退することは顕著であります。又、従業員の退職や施設の老朽化等が懸念されることから1日も早い再開を願うものであります。 ・ 地域、住民への影響 隣接する土地に、金谷公民館建設が進行している現状で、近隣に食事を提供しているところはヨーデル金谷のみである。ヨーデル金谷が存続又は廃止如何によっては、金谷公民館の利用頻度に影響する場合は考えられる。 ・ 期待する効果 この地に、「金谷公民館」「ヨーデル金谷」「上越観光物産館」の構築により、地域の宝「金谷山」観光等に大きく貢献できると確信しております。

※本提案書は、審議の開始を希望する地域協議会予定日の14日前までにまちづくりセンターに提出してください。なお、緊急を要する場合は、センターにご相談下さい。



名立区における「地域活性化の方向性」

《名立区の地域活性化に向けて》

名立区の豊かな自然と歴史文化を活かし、次代を担う人を育て、地域で支え合う誰もが安心して暮らせるまちを目指していきます。

○構成要素

- | |
|-------------------------------|
| ・ 地域固有の資源（山・川・海 ほか）を活用した地域の振興 |
| ・ 歴史・文化の継承、平和を願う活動の継続・発展 |
| ・ 次代の名立区を担う人材の育成 |
| ・ 若い世代も一緒になったまちづくりの取組 |
| ・ いつまでも安心して暮らすことのできる福祉の充実 |
| ・ 地域全体での支え合いの推進 |

牧区における「地域活性化の方向性」

《牧区の地域活性化に向けて》

牧区の豊かな自然がもたらす多様な資源をいかして、
活力と魅力あふれる牧づくりを目指します。

○構成要素

・ おいしい水の恵みのPR（米、農産物、どぶろく 他）
・ 豊富にある山の食材の活用（ウド、ぜんまい、ヨモギ 他）
・ 樹木を活用した特産品の企画（メープルシロップ 他）
・ 四季折々に合わせたイベントの開催（灯の回廊、山里コンサート 他）
・ 子どもから高齢者までが生きがいを持って暮らすことの推進
・ 大自然の中の宿泊施設、公共施設の利用促進 （花の植栽、深山荘、歴史民俗資料館 他）

頸城区における「地域活性化の方向性」

《頸城区の地域活性化に向けて》

頸城区の豊かな自然や歴史・文化の資産を活かし、花と緑にあふれ、誰もが楽しく暮らせる「住みたい、訪れたいまち」を目指します。

○構成要素

① 大池・小池を活かした観光

② くびきのお宝（レールパーク、館）の活用

③ 季節の花が咲く通学路、ポケットパークの整備

④ 外国人の交流とファーマーズマーケット（買い物難民対策等）
の企画

⑤ 情報発信、子どもが楽しむ場の創出

板倉区における「地域活性化の方向性」

《板倉区の地域活性化に向けて》

板倉区の豊かな自然や文化、長い歴史をいかして、そこで暮らす人が誇りや愛着をもち、訪れる人が楽しめる地域づくりを目指します。

○構成要素

・米や蕎麦などの農作物の美味しさや魅力の発信
・豊かな自然環境や歴史文化をいかした企画
・美しい景観や里山風景を守る
・子どもたちに板倉を愛する心を育てる
・冬期間の安心安全な暮らしの推進
・「板倉に住みたい」「板倉に住み続けたい」と思えるような、地域づくり

三和区における「地域活性化の方向性」

《三和区の地域活性化に向けて》

三和区は、上越市の中央に位置し、広大な田園や里山、ため池など豊かな自然環境に恵まれています。こうした美しい景観や地域資源を大切にしながら、今後予定されている上沼道三和 IC（本郷）の開通を見据え、住民一人一人が様々な活動に参画し、心豊かで安全・安心なまちづくりを進めていきます。

○構成要素

- | |
|---|
| ① 自然（谷内池やオニバス等）や田園の環境保全と情報発信 |
| ② 三和区の宝（林富永邸、大間城址、北代ぶどう園等）を巡る通年観光の企画及びイベント等の実施 |
| ③ 安全・安心でおいしい米産地として付加価値の高い地域ブランドの形成と、味噌や地酒、栗などの産品を活用した特産品の開発 |
| ④ 新たな「地域づくりリーダー」や「地域活動コーディネーター」の育成と社会教育の推進 |
| ⑤ 地域活性化に寄与する空き家の活用と移住者への支援 |

○各団体と地域協議会との意見交換＜主な意見＞

◆三和西部工業団地組合（令和3年8月26日）

- ・1年に2回地域住民との交流（団地内清掃活動・納涼会）を実施している
- ・さんわ桜の陣の開催について、工業団地としてもバックアップしていきたい
- ・三和区住民に対する団地内企業の認知度が低い
- ・団地内企業に三和区の若者が勤める方法はないか

◆青少年育成会議（令和3年11月24日）

- ・青少年育成会議の活動は楽しく、人と人とのつながりを大切にしている
- ・様々な活動で体が動くと心も動く
- ・人生の先輩として何を後輩に残せるか。そこが決まらないと三和は元気がでない
- ・育成会議のメンバーは、当初充て職だったが、声掛けで人数を増やしていった
- ・コーディネーターは、校区の偏りを無くして後継者を見つけていきたい
- ・イベントの企画は大人が主体であったが、今は中学生が企画し、郷土を良くしようという気持ちが伝わってくる
- ・さんわ祭りや体育祭の企画立案も、小・中学生が参画すべきである
- ・いくら良いことをしても、地域住民が知らなければ、それで終わってしまう
- ・地域づくりやまちづくりは、ボトムアップで自ら動いて取り組むものである
- ・声掛けができる環境を整えば、世代を超えた交流も可能となる
- ・表に出て活動をすることも大切だが、自分ができる範囲の中で裏方として何ができるのか、受け身でなく自分で考えて行動していくことが大切である

◆町内会長協議会 1回目（令和4年4月7日） ※意見交換

- ・町内に空き家が増えて、建物の倒壊が心配である
- ・少子高齢化により、町内会活動が停滞している
- ・町内会役員のなり手がいない
- ・町内会長がいなくなる時代が来たら、行政はどのように対応するのか
- ・地域活動の負担が大きく、行事に参加しない人や区外に移住する人もいる
- ・移住者と地域住民との意思疎通に支障が生じている
- ・農業の後継者が不足している
- ・山間部の農地が耕作放棄地となり荒廃している
- ・冬場に一人住まいの高齢者が安心して入居できる場所がほしい

◆NPO 法人 三和区振興会（令和4年8月18日）

- ・地域活性化の方向性（案）について、構成要素の取組①～⑤は、記載内容のレベルを合わせて、それぞれで具体策が出せるかが勝負になる（振興会）
- ・三和区振興会の財源確保について、区内の団体や企業からも振興会の活動に賛同いただき、会員を増やす取組も有効だと思う（地域協議会）

◆町内会長協議会 2回目（令和4年11月24日） ※方向性（案）に対する意見

- ・米産地として、農業者を育てていくような取組も入れてほしい
- ・三和区地域福祉活動計画とタイアップしながら、取組を進めてほしい

○三和区の主な課題（まとめ）

- ・三和区の活性化に尽力できるリーダーの発掘
- ・まちづくりリーダーの育成
- ・三和区ネットワーク会議における主要団体との連携の強化
- ・少子高齢化に伴う高齢者世帯及び空き家の増加抑制
- ・空き家の活用
- ・世代間の交流の場及び子どもと高齢者の居場所づくり
- ・三和区の名所・旧跡や自然を活用した賑わいの場づくりと積極的な情報発信
- ・三和の素晴らしい景観を形成している溜池や丘陵地の保全活動
- ・集落機能の維持と強化
- ・高齢化に伴う農用地等の保全と持続可能な営農活動

委員による「地域活性化の方向性」のアイデア

【参考】第8回金谷区地域協議会 資料No. 1

《金谷区の地域活性化に向けて》						構成要素					
						1	2	3	4	5	
金谷山 関連	1	金谷区の	豊かな自然と豊富な雪	という個性（強み、特性）をいかして、	金谷山を地域の人や訪れる人の憩いの場とし	ます。	スキー発祥の地としての金谷山スキー場の発信。	金谷山各種のイベントに伴う、雪回廊等の企画と実施。	金谷山周辺の美しい自然を生かしたイベント企画。	金谷山を整備し、憩いの地としての企画と推進。	
	2	金谷区の	広大なエリアと歴史	という個性（強み、特性）をいかして、	元気な地域づくりを目指し	ます。	新幹線・インター・山麓線を中心に交通アクセスの良さを生かす。	山麓線を中心に商業施設の充実を図る。	金谷山公園の歴史と文化を活かす観光事業の充実。	公民館、産直市場、ヨーデル金谷等による地域の活性化。	公民館、キャンプ場を生かすイベントの開催。
	3	金谷区の		という個性（強み、特性）をいかして、		ます。	豊かな自然環境とそれに支えられた美しい景観、美味しい食物（南葉山、金谷山、二つの認定された棚田、水源、米、野菜、山菜）	中心市街地等へのアクセスのよい交通網と住みよい住環境	拠点となる施設（ヨーデル金谷、スキー場、南葉山キャンプ場、正善寺工房、地球環境学校、新公民館）	地域ぐるみで行う子どもの教育	これらを盛り上げる各種地域団体や、おもてなしの心をもった人たち（これら全ての構成要素が観光資源になり得る）
	4	金谷区の	シンボルとも言える金谷山と、地域全体の豊かな自然	という個性（強み、特性）をいかして、	交流人口を増やし、人・アイデア・活動が『つながっていく』地域を目指し	ます。	山麓線沿いに道の駅を整備※やすづかや豊田（長野）くらいのコンパクトなイメージ ※金谷地区公民館の整備も計画されている。	まずは、金谷山公園・BMX場・ヨーデル金谷付近で足を止めさせることが最大のポイント。 ここを ・各種情報発信の拠点とする⇒金谷区の名所旧跡・各地域・地域活動の紹介 ・様々な地域活動の拠点とする ・地域防災の核とする ・ヨーデル金谷によるミニフードコート運営	農家産直市場併設 ・ヨーデル金谷との食材コラボ・ヨーデル金谷による運営 ・フリーマーケットとの連携（上越若者みらい会議など） ・計画中の公民館に大きめの雁木があれば、雨天でのイベントも可能となる。 ・地域内の特産品の販売。かなや味噌、原木・薪・稲わらなども。 ・周辺の生徒・学生との連携（農作物販売や職業体験）	ヨーデル金谷の売上アップへ ・農家産直市場との連携（食材・運営） ・平日ランチ限定サラダバー ・オリジナル地ビール ・金谷山公園へのデリバリー ・近隣の運動部学生とのコラボ	
	5	金谷区の	金谷山中心とした歴史文化	という個性（強み、特性）をいかして、	観光、集客を推進し	ます。	金谷山中心に名所旧跡がたくさん存在する。これを活用することで地域活性化につながる。	上越市が通年観光を目指しており、是非、クラフトビール工房建設を実現したい。	ヨーデル金谷とクラフトビール工房が連携強化を図り運営すれば成功する。隣地に金谷地区公民館もできる。	青年会議所が麦の生産を試みているので、是非連携してできないか。	金谷地区だけでは無理なので、上越市の力が必要。
	6	金谷区の	恵まれた自然と数多く残る歴史・史跡	という個性（強み、特性）をいかして、	誰もが住みやすい魅力のある地域づくりを目指し	ます。	金谷山公園・紫陽花ロード並びに滝寺自然公園等の整備・集客の強化	歴史文化の継続並びに推進（次世代への継承）	災害に強い地域を構築する（若者の資格取得や訓練等の積極的な参加推進）	地域間での支え合いの精神を養う（近隣接町内との交流等）	地域の宝を発掘並びに推進（地域の子もたちとの交流等）
	7	金谷区の		という個性（強み、特性）をいかして、		ます。	金谷山公園、南葉山キャンプ場、正善寺ダムなど自然公園とヨーデル金谷や近隣の商業施設との連携。ピクニック、BBQ、スキー時に利用できるプラン	上越高田インターから直江津までの間に位置する金谷山公園の立地条件を考え、休憩所や産直市場のような道の駅化。	世の中に疲れた方に自然の中の暮らしや仕事を提供する。空き家や農地の利用→市場への出荷。見守りやサポートが必要な方々を支え合える生活。		
	8	金谷区の	歴史と自然	という個性（強み、特性）をいかして、	人が集まってくる地域づくりを目指し	ます。	史跡の維持管理（滝寺不動尊・会津墓地など）	正善寺ダムの紫陽花ロードなどの整備	ヨーデル金谷周辺の道の駅（整備）	南葉高原周辺の整備	金谷山公園周辺の整備
	9	金谷区の	金谷山、ヨーデル金谷、歴史の道など	という個性（強み、特性）をいかし		ます。					

《金谷区の地域活性化に向けて》							構成要素				
							1	2	3	4	5
金谷山 関連以外	10	金谷区の	豊かな自然と、山麓線沿いの利便性	という個性（強み、特性）をいかして、	活力ある町づくりを望み	ます。	中山間地の豊富な山菜や野菜の活用（加工・販売）。山菜取りや野菜づくり、販売は若者に担ってもらおう。指導は高齢者。	販売の拠点となる産直広場を山麓線沿線に作る。高齢者や子ども連れが半日はゆっくりできる仕掛けも必ず併設。	高齢者の知恵を若者に伝授できる組織（活老＋若者の生きる力を養う場）づくり。例えば、山菜取り・田畑の手入れ・間伐や薪作り・炭焼き等々。	積極的に参加できる若者対象に、Wi-Fi環境の整ったシェアハウスを用意する。	適度にイベントも組み合わせて活気づくりも。
	11	金谷区の	恵まれた自然と文化	という個性（強み、特性）をいかして、	少子高齢化の問題解決に向かい、地域を活性化し	ます。	行事等は地域全体を考慮に入れて行う。	地域が広いので交通の便を考える。	子どもときから金谷区全体を意識するようにする。	誰もが安心して暮らせる地域を目指す。	自然・文化を目的とした観光ルートに力を入れ整備する。
	12	金谷区の	豊かな自然・地域の宝	という個性（強み）をいかして、	若者・子どもたちが安心して暮らせるまちづくりを目指し	ます。	地域内の各団体との連携を密にし、歴史・文化を学び金谷区の活性化を図る。				
	13	金谷区の	身近で豊かな自然	という個性（強み、特性）をいかし	活力と魅力あふれる地域づくりを目指し	ます。	地域住民が主体となった環境整備活動等の推進	地域活性化を目指す諸団体のネットワーク化	自然に親しむ施設の充実と利用促進	自然を活かした食材や資材の開発と活用の促進	自然に親しむ体験活動等のイベントの開催
	14	金谷区の	人・組織・地域の三本の矢	という個性（強み、特性）をいかし	働きやすい・住みやすい・魅力的な「地域」を活性化していきたい	ます。	地域活性化の担い手は私たち一人ひとり。	誰もが豊かさを享受しながら維持継続できるモデルを取り込む。			
	15	金谷区の	豊かな自然	という個性（強み、特性）をいかし	人間を大事にし	ます。	活性化はなんといっても人と人とのつながりが重要と思います。いろんな活動をするにも人が動くことが大切。（人が動くことにお金をかけていない。どうかバーしたらいいんでしょうか。）				